

杭州 2022 アジアパラ競技大会選手コメント【10月24日】

◆男子 100m(T12 クラス)決勝・男子走り幅跳び決勝

石山大輝選手(順天堂大学)

「(走り幅跳び) まだ力不足だったかなと思う。国際大会で 7m を超えることを目標にしていたが、そこがクリアできなかったのはもう一押し足らなかったかなと思う。自分の競技には集中はできた。最初のところを少しスキップする感じのロールスタートという感じで入ってきて楽にスピードを出せるように取り組みをしていたが、もう少し改善が必要かなと。(100m)もっと上げられれば。順位よりはタイムがメインだったのでもう少し頑張らないといけないかなと思う。」

◆女子 400m(T20 クラス)決勝

菅野新菜選手(みやぎ TFC)

「400mを走りましたが、自分の中では不安でしたが練習の成果を自信を持って、自分の力を出し切って自己ベストを出せて良かったです。これからの目標は来年の世界大会で自分の記録を超えられればと思います。応援ありがとうございました。」

◆男子 1500m(T54 クラス)決勝

樋口政幸選手(プーマジャパン)

「連戦で、強い選手が揃った決勝だったので結果としてはよく走れたかなと思う。今大会は、選手村の環境も良く、ボランティアの方々も笑顔で対応してくれて出場して良かった。(ベテランだけど) 神戸大会、その次も目指して頑張っていきたいかな」

岸澤宏樹選手(日立ソリューションズ)

「ひたすら喰らい付いて最後、自分の力を出し切れるレースでした。(昨日の疲れは) 良いハリ感が残って体の状態は良かったかなと。明日からの 800mはメイン種目なのでしっかりタイムを狙いにいきたいし着順もついてくると思うので、しっかり走りたいと思う。海外選手と走ることは刺激が違う。普段の練習からも目標が違ってくる。良い経験になりました。」

◆男子 100m (T52 クラス) 決勝

伊藤竜也選手(新日本工業)

「良かったです。今年は世界戦(パリ)に合わせていて今大会に合わせてはなかったがタイムはともかく楽しく走れました。パリ世界大会でメンタルの弱さを感じたのでメンタルトレーニングと減量に取り組んだ。7月くらいから2キロくらいは落ちた。あと1~2キロは落としたいかな。400mでもメダルを狙いたい。」

上与那原寛和選手(SMBC 日興証券)

「調子はだいぶ上がってきているのでメインの400mではしっかり走りたいと思う。」

◆男子やり投(F12) 決勝

若生裕太選手(電通デジタル)

「パリ世界大会では自分の投げすらできなかったので、今日は、ひたすら前半は冷静に頑張りすぎないように投げていました。やりの飛んでいる角度が見えないので、そこを探りながら投げて記録が上がっていったが、4投目がもう少しいかなと思ったが、思った以上に伸びなくて分からなくなって修正できなくなった。大きな舞台でメダル獲得は非常にうれしいし良い経験になったが、記録的にはまだまだ。」

◆女子 800m (T34) 決勝

北浦春香選手(インテージ)

「今回は、100mメインで800mは100mにつながる走りをしてと思っていた。タイム的にも悪くなくて良かった。前に若い選手もいるので追っていこうかなと思った。100mは、自己ベストを更新してメダルに絡めていければと思う」

小野寺萌恵選手(北海道・東北パラ陸上競技協会)

「(レースでクラッシュして) あれが無かったらよい記録がでたなと思ったが仕方ない。自分ではまだまだあきらめたくないの次に向けて頑張ります。」

吉田彩乃選手(関東パラ陸上競技協会)

「全力で楽しむことで臨んだのですが、スタート直後にアクシデントがあって驚いている。100mも全力で頑張りたい。精一杯楽しみたい。声援がすごくてこれが世界かと思って楽しめた。」

◆男子 100m(車いす・T54 クラス)予選

生馬知季選手(GROP SINCERITE WORLD-AC)

「思ったよりスピードが伸びなかった。明日に向けて修正していきたい。自分的にはトラックの路面が軟らかい、自分の中では重いと感じた。」